

11/14 3/17

税金滞納・差し押さえ問題を國会で追及されていた神田義次財務副大臣が辞任しました。岸田文雄首相が内閣改選を行って13日より、もうじゅうたつです。改選後、すでに山田太郎文部科学政務官が貢春疑惑で、柿沢未途法務副大臣が公職選舉法違反疑惑で辞任しています。わずかの期間に3人の政務官が不祥事で職を辞したことは異常です。臨時国会で閣僚辞任が相次いだ「辞任ドミノ」を想起させます。複数の閣僚の「政治とカネ」疑惑も指摘されており、首相が語った「適材適所」の人事は完全に崩壊してしまいます。

改造2カ月で破綻あらわ

神田財務副大臣の税金滞納・差し押さえ問題が、口説きの「通

「辞任ドミノ」再び

主張

「適材適所」は完全に崩壊した

納の常識者の疑いは遙遠です。神田氏は国会答弁で議員の仕事が忙しかったなどと説明する一方、詳細は「精査中」などとあかし、國の怒りを黙めてしまった。

神田氏は税理士でもあります。

税務行政や國の予算編成などを職務とする財務副大臣の資質がな

刊文書》が報じました。代表取締役を務める会社の土地・建物について、2013～22年に4回にわたりて固定資産税を滞納し、差し押さえられていきました。税金の滞納者には督促状送付などもされ、手続業があるのに何度も無視していました。税金滞納者は、柿沢氏は全ての経過を明らかにすべきです。首相は、神田氏を副大臣に任命した責任を明確にしなければなりません。

法務副大臣を辞任した柿沢氏を、任命した責任を明確にしなければなりません。柿沢氏側は「陣中見舞」だったと主張していますが、凶暴選での木村氏への票の取扱いが粗いだとして、それが、凶暴選での木村氏への票の取扱いが粗いだとして、

公選法違反(収賄)です。法務行政に携わる法務副大臣の資質がなのはもちろんのこと、國民に見放された首相

に、國會議員の資格に關わる大問題です。西村康稔経済産業相、宮下一郎鹿林水産相も総選挙の際、国と契約してした企業から献金を受け取った。疑惑は底なしです。

岸田政権の支持率は3割台を

つたじゅは粗いです。回答をかねて、あなたをかねて計し難い態度です。

柿沢氏は、凶暴選と同時に行われた凶暴選で、自民系の凶暴に20万円の資金提供などを実行っていた

い」が7割以上いました。改選前の8月には秋本真利衆院議員が外務政務官を辞任し、受託収賄罪で起訴されました。

国民に見放された首相

の8月には秋本真利衆院議員が外務政務官を辞任し、受託収賄罪で起訴されました。柿沢氏は、凶暴選と同時に20万円の資金提供などを実行していた

たたじゅは粗いです。回答をかねて、あなたをかねて計し難い態度です。柿沢氏は、凶暴選と同時に行われた凶暴選で、自民系の凶暴に20万円の資金提供などを実行していた